

### 1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	総務部 危機管理課長
施策名	防災・危機管理機能の強化		連絡先	052-654-7813
事務事業名	防災対策におけるシステムの管理・運用		連携課	
目的	対象(誰・何を)	防災に資する各種システム	事業期間	平成21年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	適切に管理・運用し、災害時の防災対策及び防災活動に活用します。		
概要	港湾用防災無線局、防災気象・潮位予測情報システム(MICOS)及び緊急地震速報システムを適切に管理・運用し、防災対策及び防災活動に活用します。		根拠法令等	名古屋港管理組合 防災計画
活動内容	港湾用防災無線局:年間保守点検、通信テスト(月1回) MICOS:年間保守点検、災害対策本部での活用 緊急地震速報システム:年間保守点検 職員参集システムの運用		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

### 2 DO(実施)

コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	10,906	21,693	13,297	15,299	平成29年度にMICOSへ一年を通じて潮位予測情報を提供するシステムを構築・追加したことから、平成30年度は追加したシステムの保守点検に係る事業費が増加しました。
人件費	千円	7,167	7,352	7,352	7,290	
合計	千円	18,073	29,045	20,649	22,589	

### 3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
保守点検(システム数) (単年度管理型)	目標	3	3	3	3	各システムの年間を通じた保守点検の実施(港湾用防災無線局、MICOS、緊急地震速報システム)	
	実績	3	3	3			
	事業進捗状況(30年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
訓練等での活用(回) (単年度管理型)	目標	16	16	16	16	防災無線通信テスト 12回 情報伝達訓練 4回	
	実績	16	16	16			
	事業進捗状況(30年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	良好な結果を得ているため、この状態を維持するよう努めていきます。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 災害時の防災対策及び防災活動に必要な情報収集及び情報発信を行うため、当該システムの管理・運用は、本組合として必要性の高い事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 当該システムの管理・運用は、災害時の防災対策及び防災活動に必要な情報収集及び情報発信を行うために必要であり、上位施策である「防災・危機管理機能の強化」に貢献します。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 各システムの適切な管理・運用により、災害時の防災対策及び防災活動に活用できる良好な状態を維持しています。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 最低限必要な保守点検費用、人件費で実施しました。					

### 4 ACTION(取組)

課題	令和元年度以降の取組
災害時の防災対策及び防災活動に活用できるよう、当該システムを良好な状態で維持していく必要があります。	引き続き、災害時の防災対策及び防災活動に活用できるよう、当該システムの管理・運用を適切に実施し、良好な状態を維持していきます。